2.3 タイミング要件

2.3.1 eGMのレスポンスタイム:
* eGM: ホストからポールを受信した後、20ms以内にレスポンスの送信を開始すること;
* ホスト: ポール送信後、20msを経過してもレスポンスがない場合、そのeGMをタイムアウトとして
  ポーリングサイクルを続行する;
* ホストがタイムアウトを宣告した後、そのeGMの出力したメッセージはすべて無視される;

2.3.2 インターバイトディレイ(バイト間の遅延時間)
* バイトを受信し、次のバイトを受信するときの時間間隔は、5msを超えてはならない(ホスト/eGM共通);
  この遅延時間が5msを超えた場合、そのメッセージは無効となる;

2.3.3 ポーリングレート(ポーリング速度)
* ホスト→eGMのロングポール: 200ms/回 より早い(短い)レートであってはならない;
* 最長レートは5秒(5000ms)まで;
* ポーリングレート: eGMのレスポンスタイム、インターバイトディレイは含まない;

* RTE/チケッティングをサポートする場合: ポーリングレート40ms をサポートすること:

* RTE/チケッティング等にかかわらず、40ms ポーリングを推奨する;

  → 40ms ポーリングをサポートするeGM: <A0>レスポンスで提示すること;

** 7.14 <A0>/res/Features3; (Send enabled features)
(Feature Codes3, ビット0=1のとき40msレスポンスをサポート)